

# 授業改善推進プラン 【 5年 】

令和6年度 小平市立小平第四小学校

	学習状況の実態及び課題	具体的な改善策(いつまでに、どの程度)	追加・修正
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動にすすんで取り組む児童が多い。</li> <li>・漢字の同音異義語を漢字の意味と関連付けて考えて覚えていないため、間違えることが多い。</li> <li>・叙述に沿って読み取り、自分の考えをもてる児童が多い一方で、自分の考えを表現することに苦手意識がある児童もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発問を工夫したり、見通しをもてるよう工夫したりして、児童が主体的に学習できるようにする。</li> <li>・教科書や漢字ドリルに出てくる言葉や漢字の意味を調べさせたり、全体で共有する時間を取ったりすることを通して、間違いをなくすようにしていく。</li> <li>◎対話活動を効果的に取り入れ、自分の考えを表現できるように指導する。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の都道府県や、身近な国々など基礎的な知識の定着に個人差がある。</li> <li>・課題に対して、調べたことをもとに自分の考えをもつ力が弱い。</li> <li>・図やグラフを正確に読み取る力はあるが、資料を活用して課題解決したり、総合的に考えたりすることが難しい。</li> <li>・日本の産業の様子や特色に関心をもち、意欲的に学習に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎課題解決型の学習の流れを定着させる。</li> <li>・課題解決の際に調べる目的や視点を全体で確認し、適切な資料を選択する経験を積ませる。</li> <li>・調べ学習に取り組む、情報をどう読み取ったかについて交流するなど対話活動を展開する。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に基礎基本の計算をする知識・技能は定着してきている。</li> <li>・文章をよく読み、意味を理解して立式することが苦手な児童が多い。</li> <li>・問題を多角的に考えたり、言葉で説明したりする力が弱い。</li> <li>・自信がなく間違いを恐れ、自分の考えをノートに表現したり、伝えたりするのが苦手な児童もいる。</li> <li>・学習に対して意欲的な児童が多く、特に友達と自分の考えを伝え合うことが好きな児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎自分の考えを絵図、式、言葉を使って、工夫をしながらノートに思考過程を整理して書く習慣を付けさせる。</li> <li>・絵図、式、言葉などで多角的に自分の考えを説明することを促し、多様な方法を全体の場で価値づけることで、思考や表現の手段を増やす。特に数直線、見積もり、計算のきまりを手段として定着させる。</li> <li>・自力解決の時間を十分に確保し、机間指導で多様な解決手段を見取る。全体の場では特に多様な考え方を価値づけることで、正解にたどり着く「過程」である数学的見方や考え方をたくさん持つことの重要性を児童が感じられるようにする。</li> <li>・学んだことを言語化させる「ふりかえり」を意識的に書かせる。</li> <li>・よいノートは学級に掲示して、児童のモデルとする。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や実験に興味があり、すすんで学習に取り組むことができる。</li> <li>・実験や観察を通して学習したことが正確な知識として定着しつつある。</li> <li>・実験や観察の結果から、どのようなことが言えるのかについて考察する力が弱い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ものに十分に触れ、実験を多く設定し、見通しをもって課題解決できるように取り組ませる。</li> <li>・実験や観察をした際には、結果や様子を言語化できるようにする。教科書の確認問題にも、学習事項を振り返りながら丁寧に解くようにさせる。</li> <li>・条件を制御すべき要因を意識し、計画的に観察、実験が行えるようにさせる。</li> <li>・身近な生き物の世話や自然現象に興味をもたせる工夫をする。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴き合うことを大切にしながら、向上心をもって自主的な音楽活動ができる。</li> <li>・曲に合わせて指揮や身体表現をし、音楽づくりなどに意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・鑑賞の学習では、楽器に興味をもち、音や曲想の違い、特徴などを聴き取ることができてきている。</li> <li>・自分の考えをもっているが、相手に伝える力が弱い面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歌唱や鑑賞の学習を通して、学習者用端末を活用して意見を共有し価値観を広げていくようにする。</li> <li>・選択肢を与えたり発問を工夫して、児童が「こうしたい」という思いをもてるようにする。</li> <li>・グループで音楽をつくる活動を取り入れ、自分の考えを相手に伝える力やまとまりのある音楽をつくる力を育てる。</li> <li>・鑑賞では、感じたことを言葉にすることができるように、感じ取ったことをペアやグループで交流し、学習者用端末を活用して全体で共有する機会を増やす。</li> </ul>	
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の感覚や行為を通して、造形的な特徴をおおよそ理解することができる。材料や用具を活用し、表し方を工夫して、創造的につくることができる。</li> <li>・友達の作品から見方や感じ方を深め、感想を発表できる。</li> <li>・主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎表したいことを深めることができるような活動を設定する。</li> <li>・題材の一番大切にしたい部分を丁寧に伝え、自分の中での感じ方や考え方を深められるようにする。</li> <li>・友達の作品のよさや美しさを感じられるような時間を設定する。</li> </ul>	
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な技能を習得できた児童が多い。</li> <li>・習得した知識、技能を家庭生活で生かそうとする児童が多い。</li> <li>・新たな単元や活動に対して、意欲的に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎活動を見通しながら、生活経験をもとにしてよりよい家庭生活について考えさせる。</li> <li>・体験的な学習を行い、技能を身に付けられるようにする。</li> <li>・実際の家庭生活に生かせるよう、系統性を意識した指導計画を作成することで、日常生活への関心を深め、実践的な態度を育てる。</li> </ul>	

体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域によって技能の定着に個人差がある。</li> <li>・自らの課題を選び、課題解決のために練習の場を選んだり、考えたことを友達に伝えたりできるようになっている児童が多い。</li> <li>・運動が好きで積極的に取り組む児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学習カードの活用や効果的な発問で、自己の伸びや課題を把握できるようにさせ、自分に合った課題を選ばせる。</li> <li>・思考しながら運動する力を高めるため、自分の課題に合った練習の場を選択し、考えたことを伝え合う時間を設ける。</li> <li>・感覚づくりの運動を積極的に取り入れ、運動の基礎的感覚を形成させる。</li> </ul>	
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身で、興味関心のある題材を見付け、課題を設定できる児童が多い。</li> <li>・タブレットを使って自分の思いを表現することができる児童が多い。</li> <li>・解決したことを自己の生き方に結び付けることのできる児童は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎問題解決後、児童間で伝え合う活動を通して、成長を振り返る活動を大切に、新たな課題につなげさせていく。</li> <li>・見通しをもって学習し、自己の生き方に結び付けて考えられるようにする。</li> <li>・調べ方、まとめ方のスキルを身に付けさせるために、児童間で交流する時間を設ける。</li> </ul>	
特活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級での話し合いでは、発言する児童とそうでない児童の差がある。</li> <li>・当番活動に意欲的に取り組む児童が多いが、個人差がある。</li> <li>・委員会活動や学校行事に熱心に取り組む児童が多い。</li> <li>・自主的に工夫して取り組む態度はさらに向上させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎よりよい生活を築くために、自分の考えをしっかりともち、考えを広げたり深めたりすることで、学級や学校での生活に役立てることができるようにする。</li> <li>・振り返りの機会を定期的に設けたり、他の児童のよさに気付かせる機会を設ける。</li> <li>・活動を自分事として捉えるために、児童間で交流をしたり、振り返ったりできるようにする。</li> </ul>	
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材をもとに、自分の考えをまとめることができる。</li> <li>・自分の考えを友達と交流し、深めることができる。</li> <li>・価値項目は理解しているが、自分のこととして捉え、生活と結びつけて考えることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎B主として人との関わりに関すること、及びC主として集団や社会との関わりに関することを重点に指導する。自分のこととして課題を捉えられるようにする。</li> <li>・児童が多面的、多角的に考えられるような発問を構成しながら、道徳的価値の理解が深められるようにしていく。</li> <li>・自分の考えを表現させる活動を充実させ、自分の考えをより明確にしたり、自分の道徳的な成長を実感したりできるようにする。</li> </ul>	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な挨拶や天気についての表現に親しんでいる。</li> <li>・外国語を使い、自分のことを外国語でスピーチできるようになるには時間が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を動かしたり、ゲームなどを取り入れたりして、楽しみながらスピーチなどの自己表現活動に臨めるようにする。</li> <li>・一人ひとりが発話できる活動を意図的に取り入れ、重要な表現が確実に身に付くようにする。</li> </ul>	